

令和8年度 嘉麻市立牛隈小学校 学力向上プラン（8～12月）

■視点1-②

《中期目標》問題に気づき、解決策を考え、伝え合う子どもの育成

《成果指標》令和10年度の全国学力・学習状況調査において、標準化得点：90以上 四分位C・D層の割合の合計 55%以下

《短期目標》基礎的・基本的な知識・技能を身に着け、根拠をもとに自分の考えを表現する子どもの育成

《成果指標》2月に実施する「標準学力調査」において、全学年標準化得点：国語48以上、算数50以上、総合評定1の割合：国語40%以下、算数30%以下

■視点1-①【現状】

教育活動

経営活動

○単元テストの通過率**82.1%**
○授業アンケート⑦「授業で、自分の考えを書いたり発表したりするときに、理由やもとなる文章や資料を入れることができた」（4件法）

■視点2 授業づくり

〈成果指標（児童生徒が、このようになる）〉

- ◆単元テストにおいて、80%の合格率を通過する児童の割合**80%以上**
- ◆授業アンケート⑦「授業で、自分の考えを書いたり発表したりするときに、理由やもとなる文章や資料を入れることができた」

評価

＜取組指標（学校・教師が、何を、どのように行う）＞

- ◇ねらいを明確にした分かる授業づくりを行うために、単元に形成的評価を計画的に位置づける。
- ◇児童が書いたり発言したりする場面で、教科書の記述や資料等の【根拠】を明確にさせる問いかけや話型の指導を毎時間位置づける。

○学びタイムにおける**68.6%**の通過率
○算数単元テスト【思・判・表】のCD層の割合**27.8%**

■視点3 学力基盤づくり

〈成果指標（児童生徒が、このようになる）〉

- ◆各月の最終週の学びタイムにおいて、80%の合格率を通過する児童の割合**70%**
- ◆算数単元テスト【思・判・表】のCD層の割合**20%以下**
A層…目標値95点以上 B層…目標値80点以上
C層…目標値60点以上 D層…目標値60点未満

評価

＜取組指標（学校・教師が、何を、どのように行う）＞

- ◇学びタイム、チャレンジタイムを計画に沿ってに実施し、結果を検証する。
- ◇算数科における形成的評価を基にした習熟度別学習や個に応じた学習を実施する。

○R7家庭学習強化週間（3学期）において、土日の学習時間0の児童が**17.5%**

■視点4 家庭学習・関係機関との連携

〈成果指標（児童生徒が、このようになる）〉

- ◆家庭学習強化週間において、児童の土日の学習時間0の児童**15.8%（全国平均）以下**

評価

＜取組指標（学校・教師が、何を、どのように行う）＞

- ◇家庭学習の習慣化を図るために、学年や個に応じた内容（一文作文や読書、AIドリル等）と働きかけ方を工夫する。
- ◇家庭学習強化週間を設け、子どもの学びを家庭と学校で支援する意識を高める。

○取組の検証・改善が進んでいるが、単元や学びタイム等の検証を改善につなげられていない。
○授業チェックリスト（教師用）において、肯定的回答**62.6%**

■視点5 組織マネジメント 教員の働き方支援

〈成果指標（児童生徒・教師等がこのようになる）〉

- ◆校内学力向上検証委員会で単元テストの結果、学びタイムの結果を持ち寄った検証を行い、取組の改善策を協議した割合**100%**
- ◆授業チェックリスト（教師用）において、肯定的回答が**80%以上**

評価

＜取組指標（学校・教師が、何を、どのように行う）＞

- ◇校内学力向上検証委員会を毎月第1火曜日に実施し、単元テストの結果、学びタイムにおける通過率を持ち寄った検証を行い、取組の改善策を協議する。
- ◇毎月、学力向上検証委員会前の近接学年会において、学力向上プラン、授業チェックリストについて振り返りや評価を行う。

■視点1-①【福岡県学力・学習状況調査、全国学力・学習状況調査、各種学力調査等】

R7 福岡県学力調査（小5）各学力レベルの割合（%）							
学力レベル	2	3	4	5	6	7	8
国語 自校	11.8	17.6	17.6	17.6	17.6	11.8	5.9
算数 自校	0	23.6	41.3	17.7	11.8	0	5.9
R8 全国学力調査（小6）四分位層の割合（%）							
学力レベル	D層	C層	B層	A層			
国語 自校	+34.2	-1.0	-4.8	-27.9			
算数 自校	+9.8	+21.7	-6.2	-24.8			

非認知的能力
○課題解決に向けて、話し合ったり交流したことで自分の考えが変わったり深まったりしたことがあったと肯定的回答をした児童が県比+9ポイント
○グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したことがあったと肯定的回答をした児童が県比-13.8ポイント

非認知的能力
○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていると肯定的回答をした児童が81.3%
○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると肯定的回答をした児童が62.5%

R7標準 学力調査	標準スコア/評定1の割合(%)					
	1年		2年		3年	
国語	52.5	16.7%	45.1	62.5%	46.5	40.0%
算数	54.2	0.0%	50.6	37.5%	46.4	40.0%
	4年		5年		6年	
国語	51.3	22.2%	44.3	66.7%	44.4	42.1%
算数	55.6	0.0%	45.3	60.0%	50.3	21.1%